

会 議 録 (要点筆記)

- 1 会議名 令和2年度 第2回瑞穂町地域農政推進協議会
- 2 日 時 令和2年7月29日(水) 午後3時から午後4時40分
- 3 場 所 瑞穂町民会館 1階 第2会議室
- 4 出席者 上野 勝、臼井 順央、細渕 浩昌、中垣 浩光、桐原 伸彦、
鳥海 雅司、新藤 正巳、椿 眞由巳(久保田 聡 代理出席)、
中野 真弓、角田 由理子、久保田 晴利、近藤 剛、井垣 貴洋
- 5 欠席者 榎本 勝昭、青木 一幸
- 6 議 題 (1) 会長・副会長の選出について
(2) 6月12日付け書面開催の協議会の結果について
(3) 瑞穂町農業振興計画改定スケジュールについて
(4) 農家及び農地所有者意向調査結果について
(5) 地域振興プロジェクト結果について
(6) 農業振興のための町民へのアンケート調査について
(7) 計画策定にかかる農家地区別懇談会について
(8) その他
- 7 配布資料 資料1 第1回瑞穂町地域農政推進協議会・瑞穂町認定農業者等審査分科会の結果について(報告)
資料2 瑞穂町農業振興計画スケジュールについて
資料3 瑞穂町農業振興計画策定に係る農家及び農地所有者意向調査結果
資料4 平成31年度地域振興プロジェクトの推進地域おこし計画
資料5 瑞穂町農業振興のためのアンケート調査(案)
資料6 瑞穂町農業振興計画策定にかかる地区別懇談会(案)

8 会議内容

(1) 会長・副会長の選出について

事務局から会長に立候補される方を募ったが立候補はなく、次に会長の推薦を募ったところ、新藤委員から上野委員を推薦する声があがり、他はなかった。上野委員を会長とすることについて、異議がなく、上野委員も会長になることを承諾したため上野委員を会長に選出した。

副会長の選出について、事務局から従来副会長は会長から推薦を頂いていることを説明し、選出方法について賛否を伺ったところ異議がなかった。その後、上野会長から中垣委員を推薦する声上がり、中垣委員を副会長とすることについて、異議がなく、中垣委員も副会長になることを承諾したため中垣委員を副会長に選出した。

(2) 6月12日付け書面開催の協議会の結果について

(事務局説明)

書面開催で実施した第1回瑞穂町地域農政推進協議会・瑞穂町認定農業者等審査分科会の結果について説明した。

今年度から認定農業者等の更新認定については、認定農業者等審査分科会で協議し、結果を協議会で伝えることになった旨を説明した。今回の審査分科会は、5件の認定農業者の更新認定についてであり、書面で協議した結果、全ての申請で承認されたことについて説明した。

(3) 瑞穂町農業振興計画改定スケジュールについて

(事務局説明)

農業振興計画改定に伴う今後のスケジュールについて説明した。

今年度あと4回開催する地域農政推進協議会の日程及び議題等、町民へのアンケート調査及び農家地区別懇談会の実施時期について説明した。

(4) 農家及び農地所有者意向調査結果について

(事務局説明)

昨年度実施した農家及び農地所有者意向調査の結果について説明した。

意向調査の調査方法や調査事項について説明した後、主だった質問の調査結果について、回答の傾向や前回の農業振興計画策定時に実施した調査結果との比較を交えながら説明した。

(5) 地域振興プロジェクト結果について

(事務局説明)

昨年度東京都農業会議で実施した「地域振興プロジェクト」の振興事業のまとめについて説明した。

昨年度実施した検討会や座談会の内容、近隣市町の農業センサスでの数値などについて説明した後、地域振興プロジェクトでの解決策のまとめとして、町の農業生産を担う多様な農業者を売り上げベースで、便宜的にカテゴリ分けし、そのニーズに応じた支援のあり方を示した表について説明した。

(質疑等・意見交換)

○近藤委員

トプランナーの課題のところにある農地の集約については、大規模な農家ほど農地の集約を進めていく必要があると思う。

○久保田委員

説明を聞いていて、内容はなんとなくはわかるが、現時点では、どういうまとめになるのかわからない。今後の会議で示されるんだと思うが、農家といっても、さまざまな形があるし、地域によってもさまざまなので、どういうふうにまとめていくかだと思う。

○臼井委員

家族経営で酪農をやっており、2年くらい前から次男が働き始め、一緒にやっているが、収入がなかなか上がらない。個人的な意見として、今後はミルクだけでやっていくのは限界があるのではないかと思い、新たな方策を考えなくてはいけないと思っています。

○細渕委員

私のところはお茶の生産と販売を行っているが、お茶屋全体に言えることだが、冬はお茶を飲むが、夏はペットボトルで売り上げが伸びないのが課題である。儲からないことはやらないのが現状である。

○桐原委員

今年から直売所の会長を務めることになった。新体制でこれからも頑張っていきたい。

○近藤委員

資料をみて、農業技術に関することが抜けていると思った。まず良い品物がつくれないと売れないので一番大事な部分だと思う。その中で東京都やJAの指導員に聞かずとも、若い農家同士で集まれる場をつくりその場で聞いたり、ちょっとしたことでも先輩農家に聞けるような制度といった、地域で技術を伝える仕組みづくりが必要だと思う。

○久保田委員

計画でどのようなことを載せるのかになると思うが、他市町村ではどのような内容が振興計画に載っているかを参考にしてもらいたい。

○中垣副会長

シクラメンを主にやっているが、直売で販売しているが、今まで通りではなくて何か変化をつけなければいけないと感じている。周りでもSNSやポケットマルシェ等を利用している人もいるので、参考にしたいと思う。

○新藤委員

様々な相談に対応し、支援できるよう努力していきたいと思います。

○鳥海委員

設備投資をする場合の融資も充実しているので、相談してもらいたい。

○椿委員

先ほど、技術力についての話もありましたが、人によってはメールでしょっちゅう聞いてくる人もいるくらいなので、どんどん聞いてもらいたいと思います。

○中野委員

先ほど新しい販売方法として、ポケットマルシェなどの話があったが、今年度チャレンジ農業支援事業でも新たな販路開拓としてネット販売等を検討している方向けの事業もあるので相談してみると良いと思います。

○角田委員

農業振興計画の策定にあたっては、テーマについては、的を絞ることも大切だと思う。あと、自分もいろいろな市の委員会に参加しているが、瑞穂町は若い農家が多いので、新しい視点として、若い農家の発想から出発するのも、1つ考えられると思います。

○上野会長

私のところも、新たな品物として干し芋を始めようと準備している。もともと瑞穂町でさつまいもを栽培していた農家が多かったので、干し芋がうまくでき、将来特産品になればと思いながら取り組んでいる。

(6) 農業振興のための町民へのアンケート調査について

(事務局説明)

農業振興のためのアンケート調査(案)について説明した。

前回の農業振興計画作成時の町民アンケート調査の内容を参考に最後の3問は新しい質問項目として作成した。対象者は町内在住の18歳以上の男女から抽出した1,000人、回答期間は8月25日(火)までという説明をした。

(質疑等・意見交換)

○上野会長

問2の質問にある「都市の農地についてどのようにお考えですか」の都市の農地に瑞穂町が該当しないのではないかと。また、問12や問13に関連する話だが、ふれっしゅはうすだけに関する質問を作成し、町民がどう思っているのか、聞いてみる必要があるのではないかと。

○角田委員

以前のアンケートと比較する必要があるのでは、変更しないという理由もわかりますが、1点気になるのは、問14の「あなたは瑞穂町産の農産物を食べたいと思いますか」という質問内容にちょっと違和感があるので、直すのであれば表現を変えても良いかもしれない。

(事務局から)

今回意見の挙がったアンケートの修正については、時間的な都合により、次回の協議会で再提示せず、事務局対応とさせていただき、スケジュール通りアンケートを送付することに賛同いただいた。

(7) 計画策定にかかる農家地区別懇談会について

(事務局説明)

農家地区別懇談会の内容について説明した。

資料を基に懇談会当日の流れについて説明するとともに、農家には農業対策委員を通じてチラシを配布することなどを説明しました。また、各委員に自分の地区の懇談会への出席を求めました。

(質疑等・意見交換)

○上野会長

農家の中でも農業振興地域の転用のことや、自分の畑が農振の畑かどうかかわからない人が多いので、何か地図みたいなのでわかるようなもので農業振興地域がわかるような資料があると良い。

(8) その他

(事務局から)

瑞穂町農業者事業継続支援給付金について及び次回の協議会の日程について説明した。